

(様式1)

自己評価票

作成日 平成26年6月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890200058		
法人名	有限会社 アコード		
事業所名	グループホーム ユートピア	ユニット名	2階ユニット
所在地	〒316-0034 茨城県日立市東成沢町3-23-13		
自己評価作成日	平成26年6月16日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご家族と職員の相互の信頼関係を築くことに努めている。 チームワークの重要性を全職員に理解させる努力をしている。 ホームドクターと看護師との連携を密に行い、医療の適切な対応が出来るよう努めている。 地域密着サービスであるので、ボランティアや地域の方とイベント等を通じて、ご入居者様と交流していただきながら認知症を理解して頂けるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し、会社全体で理念を共有・実践につなげる為に、毎朝申し送りの際に理念を復唱している。理念を復唱し意識付け、共有することで入居者様により良い生活を送っていただけるよう実践につなげている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に1～2回ボランティアの行事、5月にBBQ・10月に遠足を行ない、地域の方々との関わりを積極的にもち、入居者様はじめ事業所自体が地域から孤立しないように地域の一員として交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事やイベントの際にボランティアの方々・地域の方々に認知症を理解していただけるよう入居者様と話す機会作りや関わる機会を作るなど実践に努めている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議や行事を交わりながら実施している。会議参加の管理者より、会議内容を聞いたり、議事録を読んで出た意見を職員で話し合いサービス向上に活かせる様努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を活用し、担当者と情報交換をおこなうよう努めている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の体調、職員の勤務状況により散歩やドライブなど外に出る機会を作ったり、フロア内やベランダなども自由に使用できるように安全を確保しつつ入居者様に自由な生活を送って頂けるよう支援している。施錠についても身体拘束であることを認識した上で2階の階段入口・非常口のみ転落防止の為施錠をしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の無い様に全職員が言葉使いや声のかけ方・対応の仕方など注意を払い、虐待の危険を早期に発見し職員同士で話し合い虐待防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	サービス事業者懇談会に参加をしたり、他事業者との意見交換や情報交換をしている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や契約解除の際には、解約(解除)する前にご家族へ十分に説明をし納得して頂いてから手続きを進めるように努めている。また、重度化した際の対応なども説明し理解・納得を図っている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の中で意見・要望を聞き迅速に対応や改善が出来る様、上司・管理者・ユニットリーダー間で話し合いを行い、話し合った内容をご家族に文章で配布し、入居者・ご家族等の意見に反映できるよう努めている。また、面会の際必ずご家族に話しかけ、ご家族が話しやすい雰囲気作りを職員が積極的に作るよう努めている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に当番や、役割を与え、責任感とやりがいを与えたりしているが、キャリアパス制度は事業所の規模からして難しいと考えているが、それに相当するものを整備することを考えている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に担当の入居者や毎月行っているイベントの担当などの役割をってもらっている。また、職員の負担少しでも軽減できるように設備、備品を整えるよう心がけている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が認知症実践者研修の受講を目指しているが、受講のチャンスが少ない。自社で独自の研修を行っている。また、常に職員同士で対応法や介助法の見直しなど実践で行うようにしている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	日立市内の事業者連絡会や介護相談員連絡会に出席し、他事業所の良い情報などを参考にして、サービスの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用開始前に、本人に会い本人の心身の状態や思いを聞き状態の把握に努めると共にカンファレンスを行い、サービス開始時よりアセスメントシートを活用し本人の思いに耳を傾け、本人の気持ちに沿ったケアや安心を確保する為の関係づくりに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始前に、ご家族の思い(要望や不安な事など)を傾聴・問いかけを行いご家族の気持ちを把握・緩和出来るよう努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントシートを活用し観察を行い、本人や家族に必要な支援を見極め対応出来るよう努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者は人生の先輩であるという考えをもち、本人が普段の生活の中で行ってきた事などを教えてもらいながら一緒に行えるような工夫をし家族の様な関係を築き、同じ時を過ごし支えあって暮らせるよう努めている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などご家族に近況報告や、面会時だけでなく変化があった際は連絡したりと情報の共有を行い入居者とご家族が安心していただけるような関係が築けるよう取り組んでいる。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に確認をしたうえで、入居者と馴染みのある人に手紙を書いたり電話をしたりと関係が途切れないように支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握し、個別に話す時間を作ったり、職員が間に入り話題を提供したりと入居者同士が良い関係を作れるように支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、必要に応じて他事業者へ情報を提供したりと相談や支援に努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いや意向を日々の会話の中から把握できるように努めている。把握した内容を職員同士で情報交換し入居者の思いを共有するように努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用前に本人やご家族に話を聞いた情報や、アセスメントシートの活用や本人との会話で把握しカンファレンスを行い職員間で情報交換し経過の把握に努めている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の出来ることは何かを職員間で情報の共有を行い、アセスメントシートの活用や観察を行い、一日の過ごし方や本人の心身状態・残存能力など、暮らしの現状の把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヶ月に1度モニタリングを行い、職員同士意見交換やケアマネージャーとの話し合いを行い本人の現状に即した介護計画書を作成出来るよう努めている。 また、カンファレンスを行いケアの統一を図るようにしている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を細かく記録し、小さな変化や気付きを職員間で情報交換しカンファレンスを行い情報を共有しケアの統一を行い、実践しながら介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ボランティア行事など家族の協力を得て、状況に応じた支援を話し合い毎月の行事計画に取り入れ行事の毎に反省・改善点を出し合い本人や家族のニーズも臨機応変に対応しさらにより良いサービス提供に努めるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流センターからの紹介によるボランティアやご近所からの月2回のお話ボランティアを取り入れ暮らしを楽しむようなことができるよう支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度ホームドクターの(内科)の往診があり、本人・ご家族が希望するかかりつけ医とも連携をとり適切な医療を受けられるように支援している。内科以外の受診はご家族に協力していただき受診している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の様子や健康状態の観察・記録を常に行い変化や気づきがあった際はすぐに看護師へ相談・報告をし情報を共有するように徹底している。 看護師からの指示やアドバイスを頂き適切な看護を受けれるように支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は医療機関やホームドクター・看護師に入居者の情報を提供する。 退院時は医療機関からの情報を収集し、治療の継続・ケアに活かせる様カンファレンスを行い、全職員・ホームドクター・看護師と連携をとり支援している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族にホーム内で行える介護・看護を説明し十分に理解していただき納得していただいたうえで、ホームドクターや看護師を交え話し合い方針を決定し、全職員が方針を共有し協力しながら支援に取り組んでいる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や事故発生時に備え、緊急マニュアルを作成し職員同士で話し合い全職員が適切な対応ができるよう努めている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に備え消防署の協力をもとに年に2回の避難訓練を行い避難方法をマニュアル化し全職員が対応できるようにしている。 また、災害時に備え食糧・水を常に備蓄している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の誇りやプライバシーを損ねないように声かけを行えるよう職員は常に意識し入居者一人ひとりの人格を尊重するよう心がけている。 また、不適切な対応があった場合は職員間で注意し合えるように取り組んでいる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の決める力を大事にし自己決定が出来るよう、日常生活の中で選択肢が多いく自己決定が困難な場合は入居者と話し思いや要望を尊重したうえで選択肢を減らし自己決定が出来るよう支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムや状況・体調を把握し、入居者のペースを大切にし本人の希望に沿った過ごし方ができるように心がけ支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常生活の中で本人の希望を尊重し着る服を一緒に選んだり、入浴の準備をしたりと支援している。男性入居者には毎日髭剃りの声掛けを行っている。 また、2ヶ月に1度散髪を実施している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	イベントメニューや誕生日メニュー、季節の食材をとり入れたり食事が楽しみになるように工夫している。 毎食の献立を入居者が見れるようにホワイトボードに記入している。 入居者の状況により、野菜の皮むきや、おやつ作り、食器洗い・拭きなど家事の参加にも積極的に取り組んでいる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の食事・水分摂取状況の観察・記録を行い、体調・食事制限など全職員が共有できるように表にし、栄養バランスを考え一人ひとりに合った調理の工夫を行っている。 水分不足にならないよう全職員が意識し声かけや飲み物を工夫し水分補給が出来るよう取り組んでいる。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い一人で出来ない方は職員が行っている。また、磨き残し・口腔内の食残がないかを確認するようにしている。 拒否する方は声掛けの工夫をし行えるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は入居者個々の排泄状況を記録すると共に排泄前に入居者の行動を観察し、排泄パターンを把握し本人にあった定期的なトイレ誘導を行っている。 また、失敗してしまった時など本人の羞恥心を考慮した対応をするように心がけ支援している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ラジオ体操を行ったり、運動を日常生活の中に取り入れている。 また、1日1回は乳製品を提供している。 排便状況を確認・申し送りし、排便がない方には腹部聴診や腹部マッサージを行っている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回の入浴になっているが、入居者の希望があれば入浴できるように支援している。また、季節によって柚子や入居者の希望に合わせて入浴剤を入れている。入浴中、歌をうたったり、会話をしたりと楽しんで過ごせるよう努めている。 入居者の状態に応じて足浴やシャワー浴、清拭など行い個々に応じた支援を行っている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状況に合わせて、体操や歩行訓練・日光浴やレクを行い安眠に繋がるよう日中の活動を行い安心して眠れるような支援をしている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルを作成し服薬の際は誤薬が絶対おきない様に努めている。薬についての説明書きを管理し、一目で薬の作用・副作用がわかるように表にしている。薬が変更の際には表を書き換え常に新しい情報がわかるように取り組んでる。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で無理なく本人の体調・状況に応じた役割を楽しみながら出来るように支援している。入居者の趣味や好きな事を会話の中や職員間で情報交換し共有し、場所の提供や他入居者の配慮をしながら支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は入居者の希望や体調に合わせて散歩やドライブで花見や海に行ったりしている。 ご家族の協力を得て入居者は自宅や外食、遠足(動物園等)に出掛けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族より、お小遣いを預かり本人が欲しい物・買いたい物の希望があれば、本人の体調や状況・力に応じて一緒に買い物に行ったり出来るように支援している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者からほとんど電話をかけたいと訴えはないが、希望された時は電話や手紙のやり取りができるように支援している。携帯電話を持参し家族に電話をしている入居者もいる。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースや居室に温度計を設置し温度・湿度の管理を行っている。 また、ベランダで自家菜園や花を作り咲いた花を共有スペースに飾っている。雛人形や兜、クリスマスツリーなど飾り季節を感じて頂けるような工夫をしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが孤立することなく入居者同士が仲良く会話を楽しみ過ごす事ができ、共有スペースにソファを置きゆっくりくつろげる場所など、思い思いに過ごせるような居場所作りを工夫している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室でも居心地良く過ごせるように、ご家族と相談・協力を得て以前から本人が使用していた衣類やダンスなど身の回りにあったものを使用していただくなど工夫している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや自室など入居者がわかりやすいように入り口に表示するなど入居者の状況に応じて工夫し安全かつ自立した生活を送って頂けるように環境整備に努めている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない